

# 『BMX&ロード サイクルスポーツ ジャンボリー in かとう 2023』

開催期間中は、BMX競技の大会やエキシビション、ロードレース、ライディングスクール、BMX体験教室など、自転車のイベントを多数開催！BMXやロードバイクの魅力に触れる絶好の機会ですので、ぜひ遊びに来てください♪



※詳しくはホームページをご覧ください。

加東の11月は  
自転車が熱い！

## BMX FLATLAND CONTEST C3 JAM KATO/HYOGO 2023

日時 11月11日(土)、12日(日) 10時～17時  
会場 播磨中央公園  
サイクルステーション特設会場

日本だけでなく、タイ、マレーシア、フィリピンといった海外からも有力選手が参戦！プロからアマチュアまで8つのクラスに分かれて順位を競います。国内・海外のランカーの世界レベルの技を間近で体感できます！

## BMXフリースタイルパーク エキシビション

日時 11月11日(土) 10時40分～、14時～  
12日(日) 10時30分～、13時～  
会場 播磨中央公園  
サイクルステーション特設会場

東京オリンピック新種目「BMXフリースタイル」で解説を務めた勅使川原大地さんや2022年全日本BMXフリースタイル選手権エリート2位の小澤楓選手をはじめ、トップライダーが集結！ジャンプ台を使った大迫力の技の数々を、ぜひご覧ください！

## ロードレース かとうクリテリウム In 播磨中央公園

日時 11月5日(日) 11時～  
※解説開始 10時30分～  
会場 播磨中央公園  
サイクルステーション周辺

播磨中央公園サイクリングコースのオープンを記念し、1周約1kmのコースを走るクリテリウム(周回レース)を開催します。実業団選手が観客の前を通過するので、レースの迫力を間近で体験できます！

レース当日は秋のフェスティバル会場とレース会場を往復するシャトルバスを運行します。会場付近で子ども向けのライディングスクールも開催します。ぜひご家族でお越しください。

## BMXってどんな競技？

BMXは、Bicycle Motocross(バイシクルモトクロス)の略で、自転車競技の一種です。

1970年ごろ、アメリカの子どもたちが小さな自転車でモトクロス(オートバイの競技)を真似たことが始まりといわれ、70年代半ばには専用の自転車を使ったレースが全米で行われるようになりました。

BMXの競技は、大きく分けて「レース」と「フリースタイル」に分かれています。レースは速さを、フリースタイルは技を競います。

フリースタイルは「フラットランド」、「パーク」、「ストリート」、「ヴァート」、「オールドスクール」の5種類があり、今回加東市で披露されるのは「フラットランド」と「パーク」です。



### フラットランド

平らな舞台をゆっくりと走りながら、バランスを取りつつ、さまざまな技を披露します。あたかも自転車とダンスをしているように巧みに乗りこなす競技です。



### パーク

大小さまざまな坂やジャンプ台があるスケートパークを勢いよく走り、ダイナミックな飛び技を披露する競技です。

加東の秋はこっちも熱い！

## 加東市秋のフェスティバル2023

11月3日(金) 9時～16時  
4日(土) 9時～16時  
5日(日) 9時～16時

菊花盆栽展《Bio 西側(ロッセリア側)テラス》  
子ども美術作品展《滝野複合施設・滝野公民館》、菊花盆栽展《Bio 西側(ロッセリア側)テラス》  
ステージ・釣り名人・出店《播磨中央公園内・加東アート館周辺》、  
子ども美術作品展《滝野複合施設・滝野公民館》、菊花盆栽展《Bio 西側(ロッセリア側)テラス》

詳しくは市ホームページをご覧ください。▶



## 日本BMXフラットランドの先駆者 宇野陽介さんが語る BMXの魅力と 本イベント開催への想い

BMXフリースタイルは、自転車を使い自由に技を表現して難易度や技の完成度や美しさを競う、観ていて楽しい競技です。

今大会では、世界で活躍する選手が集まります。それぞれ自慢の技を持ち寄り、圧巻のパフォーマンスを披露してくれます。

また、オリンピックの正式種目になっているBMXフリースタイル パーク競技は、ジャンプ台を使い高く飛んで幾つもの技をダイナミックに魅せるのが魅力の競技です。

2028年ロサンゼルスオリンピック出場目標の日本の次世代選手達が大会のエキシビションとして特別なパフォーマンスを魅せてくれます。日本国内でもなかなか見られない選手達が多く出場します。ぜひ、応援に来てください。

## PROFILE : 宇野 陽介 / YORK UNO

1975年5月26日生まれ。石川県金沢市出身。現在、兵庫県在住。

高校3年生からBMXを始め、1999年にUSA国際大会にて日本人初優勝を成し遂げるなど、数々の世界大会で優勝、入賞を果たす。アジア人最多のX-GAMES本選出場の経歴も持つ。

オリジナルBMXブランドARESBIKESの立ち上げやメディア出演など活躍は多岐にわたる。現在は特にBMX普及と次世代ライダーの育成に力を注いでおり、本イベント開催にも尽力。